

健康なまちづくり シンポジウム

少子・高齢化による人口減少や人口構造の変化が急速に進行し、まちの風景が激変しています。空き家の拡大を受けた市街地等の再開発、高齢者増大に伴う医療費抑制や健康寿命延伸策などは重要な社会課題として、その解決に向けた取組が進められています。

これらの社会課題を解決し、世界一住みたいまちをつくる担い手は地域に住む市民です。子ども、青少年から中高年、高齢者など全ての市民が健康で生き生きと暮らせるまちづくりが、今後必要となってきます。

本シンポジウムでは、市民とともに健康づくりを行うトップアスリート、障がいや病気と闘いながら自らの経験を地域社会の課題解決に活かそうとするサバイバーたちの活動を紹介し、都市計画の視点も踏まえ、健康なまちづくりとはなにか? 「世界でいちばん住みたいまち」をつくるためには何をすべきかをトータルに考えていきます。

日時

2016年3月4日(金)
14:00~17:30 (13:30 受付開始)

会場

大阪ガス本社3階ホール
大阪市中央区平野町4-1-2

定員200名様
参加無料

ご参加には事前登録が必要です

主催:

大阪ガス株式会社 地域共創部門 近畿圏部

共催:

一般社団法人アスリートネットワーク

■プログラム

- 14:00 主催者挨拶 大阪ガス株式会社 常務執行役員 宮川 正
14:10 【基調講演】
14:40 【各カテゴリーからの提言】
16:10 【パネルディスカッション】
17:20 共催者挨拶 一般社団法人アスリートネットワーク 理事長 柳本晶一

基調講演

「健康なまちづくり」とは

赤池 学氏

ユニバーサルデザイン総合研究所 所長/
科学技術ジャーナリスト



各カテゴリーからの提言

青少年育成活動からの提言

ドイツの地域倶楽部をモデルとした
地域コミュニティ倶楽部の活動報告

朝原宣治氏

大阪ガス株式会社/
北京オリンピック
陸上400mリレー
銅メダリスト



高齢者健康活動からの提言

マスターズシンクロによる「いくつになっても
美しく元気でありたい」を応援する

巽 樹理氏

追手門学院大学 特任助教/
シドニー、アテネオリンピック
シンクロナイズド・スイミング
銀メダリスト



障がい者スポーツからの提言

障がい者アスリートが提案する
「健康なまち」とは

山本 篤氏

スズキ株式会社/
北京パラリンピック
陸上走幅跳
銀メダリスト



がんサバイバーからの提言

がん経験者の視点を
新たな価値に変換して社会に活かす

平井 啓氏

大阪大学
未来戦略機構次世代研究型
総合大学研究室准教授



都市設計からの提言

スポーツや健康を都市にどう
ビルトインすれば「健康なまち」ができるのか

角野幸博氏

関西学院大学
総合政策学部教授



パネルディスカッション

「これからのまちづくりの担い手に求められるもの」

【パネリスト】柳本晶一氏/朝原宣治氏/巽 樹理氏/山本篤氏/平井 啓氏/角野幸博氏

【コーディネーター】赤池 学氏

共催者挨拶

柳本晶一氏

一般社団法人
アスリートネットワーク 理事長



健康なまちづくりシンポジウム

■出演者プロフィール

赤池 学 (あかいけ まなぶ) 氏

ユニバーサルデザイン総合研究所 所長／科学技術ジャーナリスト

1958年東京都生まれ。1981年筑波大学生物学類卒業。社会システムデザインを行うシンクタンクを経営し、ソーシャルイノベーションを促す、環境・福祉対応の商品・施設・地域開発を手がける。「生命地域主義」「千年持続学」「自然に学ぶものづくり」を提唱し、地域の資源、技術、人材を活用した数多くのものづくりプロジェクトにも参画。科学技術ジャーナリストとして、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演活動にも取り組み、2011年より財団環境共創イニシアチブの代表理事も務める。グッドデザイン賞金賞、JAPAN SHOP SYSTEM AWARD 最優秀賞、KU/KAN賞2011など、産業デザイン分野で数多くの顕彰を受けている。著書に「世界でいちばん住みたいたい家」など。

朝原宣治 (あさはらの のぶはる) 氏

大阪ガス株式会社／北京オリンピック陸上400mリレー銅メダリスト

1972年生まれ。同志社大学から大阪ガス株式会社（近畿圏部地域活力創造チームに在籍）へ。同志社大学3年生の国体100mで10秒19の日本記録樹立。その加速力から「和製カール・ルイス」と呼ばれた。大阪ガス株式会社に入社後、アトランタオリンピック100m出場。日本人選手として準決勝に28年ぶりに進出した。オリンピックには4回連続出場。自己最高記録は10秒02の日本歴代3位。2008年北京オリンピック4×100mリレーでは、悲願の銅メダル獲得。現在は、陸上競技クラブ「NOBY T&F CLUB」の主宰者、一般社団法人アスリートネットワークの副理事長として「スポーツを通じた健康力の高いまちづくり」、「世界でいちばん住みたいたいまちづくり」活動を推進している。詳しくはHP参照 (<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/noby-web/index.html>)

巽 樹理 (たつみ じゅり) 氏

追手門学院大学 特任助教／

シドニー、アテネオリンピックシンクロナイズド・スイミング銀メダリスト

2002年追手門学院大学卒業。2015年大阪体育大学大学院修士（スポーツ科学）。2015年追手門学院大学特任助教。2歳よりスイミングスクールに通い、7歳でシンクロナイズド・スイミングを始める。1995年にジュニアナショナルチーム、97年にナショナルBチーム、99年から04年アテネオリンピックまでナショナルAチームに在籍。現在、マスターズシンクロの指導者としても活躍。

山本 篤 (やまもと あつし) 氏

スズキ株式会社／北京パラリンピック陸上走幅跳銀メダリスト

1982年生まれ。大阪体育大学体育学部卒業。身長168cmながら1mを超すジャンプ力でバレーボールのアタッカーとして活躍していたが、高校2年の時に起こしたバイク事故によって左足を腿から切断。高校卒業後に通った日本聴能言語福祉学院・義肢装具学科で陸上に出会い、アスリートとしての本能が甦ったことで大阪体育大学に進学。100m、走幅跳で日本記録を更新し、欧州選手権の走幅跳で銅メダル獲得するなど、日本代表級の実力を身につけた。困難な状況を持ち前のプラス思考で乗り越える屈強なアスリートである。2008年スズキに入社、北京パラリンピックで銀メダルを獲得。その後も、アジアパラ競技大会、世界選手権など多くの国際大会でメダルを獲得している。2016リオパラリンピック代表内定。

平井 啓 (ひらい けい) 氏

大阪大学 未来戦略機構次世代研究型総合大学研究室准教授

1972年生まれ。1997年3月大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程（行動学専攻）修了。同年9月に大阪大学人間科学部助手となる。2002年同大学院博士号取得（人間科学）。その後、国立がんセンター東病院研究員を経て、現在、大阪大学准教授・京都大学非常勤講師。主な研究は、「成人がん患者と小児がん患者の家族に対する望ましい心理社会的支援のあり方に関する研究」「受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究」など。

角野幸博 (かどの ゆきひろ) 氏

関西学院大学 総合政策学部教授

1955年生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、京都大学大学院修士課程修了、大阪大学大学院博士後期課程修了。関電通、武庫川女子大学教授等を経て、平成18年4月より関西学院大学総合政策学部教授。工学博士。一級建築士。専門分野は、都市計画、まちづくり、住宅政策。主な著書に、「郊外の20世紀」(学芸出版社)、「近代日本の郊外住宅地」(鹿島出版会、共編)、「都心・まちなか・郊外の共生」(見洋書房、共編、都市住宅学会著作賞受賞)、「都市のリデザイン」(学芸出版社、共著)、「都市再生・まちづくり学」(創元社、共著)などがある。

ご参加には事前登録が必要です(無料) 申込締切 2月29日(月)

※申込多数により定員を超えてご参加いただけない場合のみ、事務局よりご連絡いたします。

※当日は、受付にてお名刺をご提出いただくか、お名前をお伝えください。

※個人情報とは適切に管理し、シンポジウムの管理・運営と次回シンポジウムのご案内にのみ使用いたします。

■お問い合わせ・・・・・・ NOBY T&F CLUB 事務局

TEL 06-6261-5034 FAX 06-6586-1246

WEB

<https://fs224.formasp.jp/j992/form2/>
のフォームに入力し送信

FAX申込用紙

必要事項を記入し FAX 03-5456-4332へ送信

① 氏名 (フリガナ)

② 会社・団体名 (株式会社、一般社団法人なども正確に記入してください。)

③ 会社・団体住所 郵便番号 ()

④ 所属部署・役職

⑤ メールアドレス

@

⑥ 同伴者氏名

携帯・スマートフォンの方はこちら

